

第3回大町・一義杯会報告

T1 中村 圭一郎

令和6年8月17日金曜日午後2時、関内相生町の雀荘「プリンス」で、体温超えの気温38度の猛暑のなか、熱い戦い「第3回大町・一義杯」が開催されました。汗をかきながら集合した戦士4人(開戦時席順、大和さん、中村、団長、新木さん)は水分補給後、静かに戦いを始めました。

東1局終盤、「ツモ！！」第2回大町・一義杯でトップ争い中、新木氏の跳満で優勝を逃がした中村の声が響きました。メンタンピン三色ドラ1の跳満でした。ところが終盤にいつものように気が緩み、大和さんに振り込み、結局、虎視眈々とトップを狙っていた新木さんにあがられて、トップを逃がしました。

第2局は、跳満が飛び交うが、ラス前で全員が2万点以上という白熱した戦いでした。始めに私に流れがきました。国士無双の配パイ3シャンテンでした。その後、順調に手が進み、ラス1のハイを続けて2回つもり、テンパイになりました。どうせバれているので「リーチしようかな～」と圧をかけたのですが、(多分、大和さんだったと思うのですが)「ツモのみ」の一言で夢がおわりました。前回の国士イーシャンテンも大和さんだったなあ・・・

オーラスで小さい手をあがり、2万8千点でなんとかトップになりましたが、3万点に届かず西入になりました。親になり小さい手をまたあがり、3万点をかろうじて越えました。このままおとなしく終わりたいと思った時、団長が跳満をつもり、2万2千点にへこみました。オーラスになり、また流れが来ました。配パイ3シャンテンです。その後、順調にテンパイになり、リーチをかけました。なんと苦手にしていた新木さんから、高めの2ピンが出ました。「それ！！」思わず大きな声がありました。「メンタンピン一発三色ドラ1」大逆転の跳満でした。

跳満に始まり跳満に終わりたいへん白熱した暑い夏の日、温かい戦いでした。ありがとうございました。



	大和	中村	山路	新木
第1局	-10	+1	-8	+17
第2局	-8	+21	+4	-17
合計	-18	+22	-4	0

(中村記)

第4回大町・一義杯会報告

B1 古川幸一

8月29日木曜日、台風10号が迫る中、鶴野さん、新木さん、倪さん、古川が雀荘プリンスに集合しました。ちょうど集合時刻を待つかのように雨が降り出し、これから始まる熱い戦いの序曲を奏でるような雨音とともに戦いの火ぶたが切って落とされました。

第1荘は荒天にもかかわらず、各人の静かな上がりが続いて返されるものの、トップ目の30,000点に到達するのが誰になるのか予断を許さぬ状況でした。しかしながらオーラスの時点でようやく古川が30,800点でトップを狙える位置につけました。逃げ切れるかと思いきや、最後の最後に、倪さんの上りがさく裂、30,900点となり、僅か100点差で初戦トップを獲得しました。

第2荘は、さすがの実力者新木さんが着実に上がりを重ねていきました。途中鶴野さんがかなりの追い上げを見せるも善戦むなく、新木さんがトップを獲得しました。

第3荘は起家古川が初っ端から親満を炸裂、その後も満貫などで着実に点数を加えていきました。しかしながら新木さんも満貫などの上りを加え、じりじりと猛追を見せましたが、オーラス直前、古川のタンピン三色満貫の手に放銃し、万事休すの戦いとなりました。

古川談: 麻雀部に参加させていただいて約1年、初参加以来のトータルトップをとれ、また大町・一義杯に名を連ねることが出来て光栄です。



	倪	新木	古川	鶴野
一回目	+13	-6	±0	-7
二回目	-22	+29	-14	+7
三回目	-16	-18	+37	-3
合計	-25	+5	+23	-3

(古川記)